

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212W404	看護実践基盤技術Ⅱ (Skill and Art of Nursing)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	4	後	木・1, 2	幸松美智子・ 医学科および福祉健康科学部の教員 内線：5075 E-mail：yukimats@

【授業の概要・到達目標】

本科目は、看護技術の一つである多職種連携技術に焦点をあてて専門職連携教育（IPE：Interprofessional Education）を行う。前半は、学生自身の実習経験に基づき、専門職連携実践の意義を検討する。後半は、医学科学生（医師）、福祉健康科学部の理学療法コース（理学療法士）、社会福祉実践コース（社会福祉士、精神保健福祉士）、心理学コース（認定心理士）の学生とともに事例検討を行い、相互に学び合いながら、他職種の専門性を学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 学生自身が実習で行った同職種・他職種・多職種との連携実践を振り返り、専門職連携実践の意義を検討することができる。		○					○
2. 合同演習（準備を含む）において、看護職の立場から事例のアセスメントと支援について説明し意見交換をする過程を通じて、あらためて看護の専門性について考察することができる。	○	○	○	○	○	○	○
3. 専門職連携技術の原理原則を考察するとともに、看護実践者として専門職連携技術を高めるための自己の課題を明確化する。			○	○		○	○

【授業の内容】

1	【演習】看護実践における専門職連携技術 ・実習で経験した同職種・他職種・多職種との連携 ・他分野の専門職の専門性、看護職の専門性 ・専門職連携実践の意義
2～5	【合同演習に向けた準備】 ・合同演習で用いる事例のアセスメント及び看護計画 ・多職種カンファレンスでの検討点やプレゼンテーション資料の準備
6～9	【看護学科4年生、医学科4年生、福祉健康科学部4年生との合同演習】25チームでの事例検討 11月中旬 3, 4限・臨床大講義室/チュートリアル室：オリエンテーション、事例検討 11月中旬 3, 4限・チュートリアル室/臨床大講義室：事例検討、発表
10・11	専門職連携における看護職の役割についてグループ討議・発表

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認			・学生自身の臨地実習での経験を素材に、グループワークを行う。 ・他学科・他学部の学生との事例検討に向けた準備時間を設け、看護側としての意見内容のまとめ、プレゼン方法の検討を行う。
B：意見の表現・交換	○	学科内チーム演習・合同演習	
C：応用志向	○	学科内チーム演習・合同演習	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	事前に説明されるチーム演習の内容を理解し、各自で準備する。(17 h)
事後学修	チーム演習で学修した内容について振り返り、復習をする。(5 h)

【教科書】なし

【参考書】授業中に適宜紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
合同演習に関するチーム演習成果物	50%	○	○	
レポート(個人)	50%		○	○

【注意事項】毎回、学習記録シートの提出をもって出席状況を確認する。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	幸松、佐藤、小野（看護師）、江藤（看護師・助産師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	・看護師としての活動経験をいかし、事例を教材に講義・演習を行う。	
事業形態		